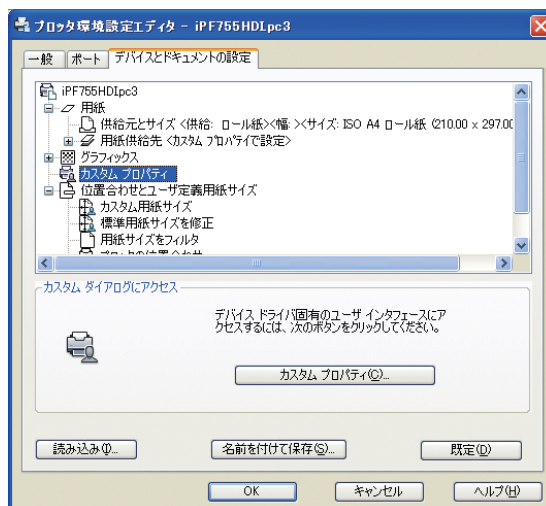
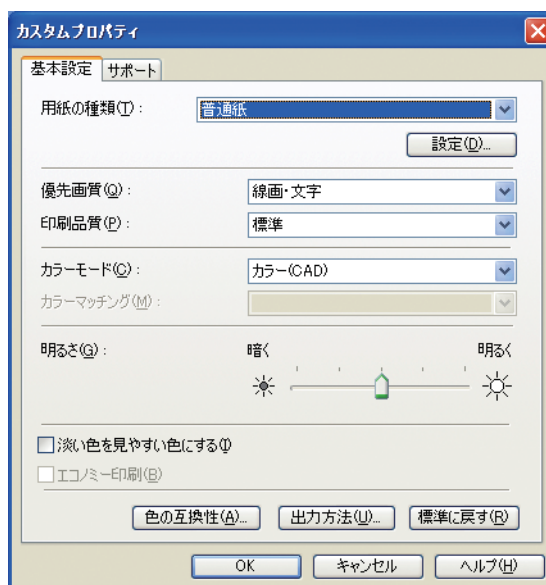


プロパティを開きます。



カスタムプロパティを開くと、用紙設定、印字モード設定などのプリンタ設定項目が開きます。基本的な設定は iPF ドライバと同じです。



「OK」を押して設定が終了したらカスタムプロパティ画面を抜けて、印刷画面へ印刷を行います。

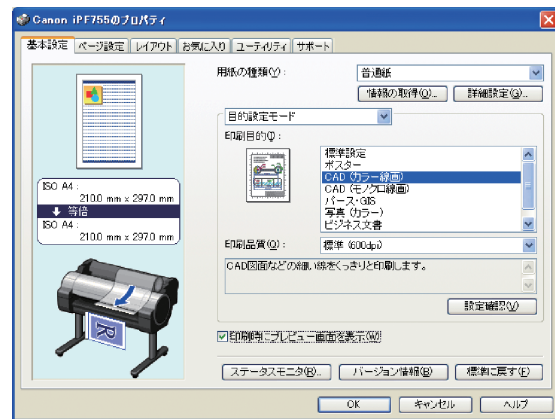
ドライバのUI画面が開きます。

「情報の取得」などを使って用紙の種類を正しく設定します。

目的設定モードで「CAD (カラー線画)」を選択します。

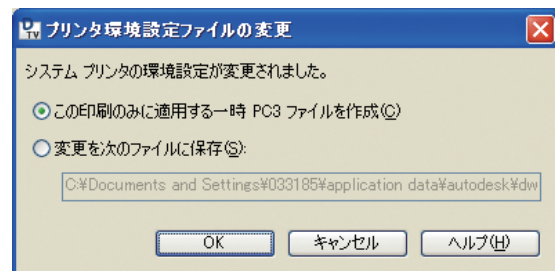
印刷時にプレビューを表示にチェックを入れておくと印刷前にプレビューが起動して印刷内容の確認ができます。

設定が終了したら、「OK」ボタンで戻ります。



通常はこれで印刷 - モデルまで戻り「印刷」ボタンを押すと変更した設定を保存するかを選択画面がでます。

一時的な設定か、恒久的な設定（あとで呼び出せる）にするかによって選択します。



「OK」を押せば印刷の設定が保存され、その後「印刷」を押すと印刷が開始されます。

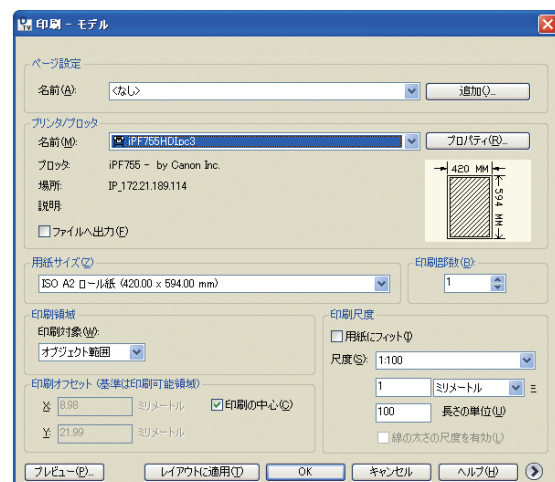
2 HDI ドライバの印刷設定

ここでは HDI ドライバを用いた印刷方法を紹介します。HDI ドライバについては CAD 環境ガイドを参照してください。

AutoCAD を起動し、「印刷」を選択します。

印刷画面が開いたら HDI ドライバを選択します。

プリンタ設定は「プリンタ/プロッタ」/「プロパティ」を開いて行います。



3 出力画像に不具合がある場合

AutoCAD では図面の横に写真やイラストなどのイメージ画像を貼り付けることが多くなってきました。AutoCAD では、あまり大きな画像を貼り付けたときや、A1 などの大きなサイズの印刷を行うときに、貼り付けた画像が印刷できないといったトラブルが報告されています。CAD アプリケーションの中には大きな画像を取り扱おうとこのような問題がでるものが少なくありません。

このような場合には設定によって、これらの問題を回避することができます。

プリンタのプロパティを選びます。

カスタムプロパティを選択してボタンをクリックします。

プロッタ環境エディタが開きます。

メニューの「グラフィックス」から「ラスターグラフィックス」を選びます。

ラスターイメージの「ラスター及びシェーディング/レンダリング、ビューポート」で設定できるスライダーをデフォルトの高画質から左にずらします。左にするほど、画像データの負荷を下げることで正しい出力に近づきます。(下げすぎると、画像データの品質が下がります)

